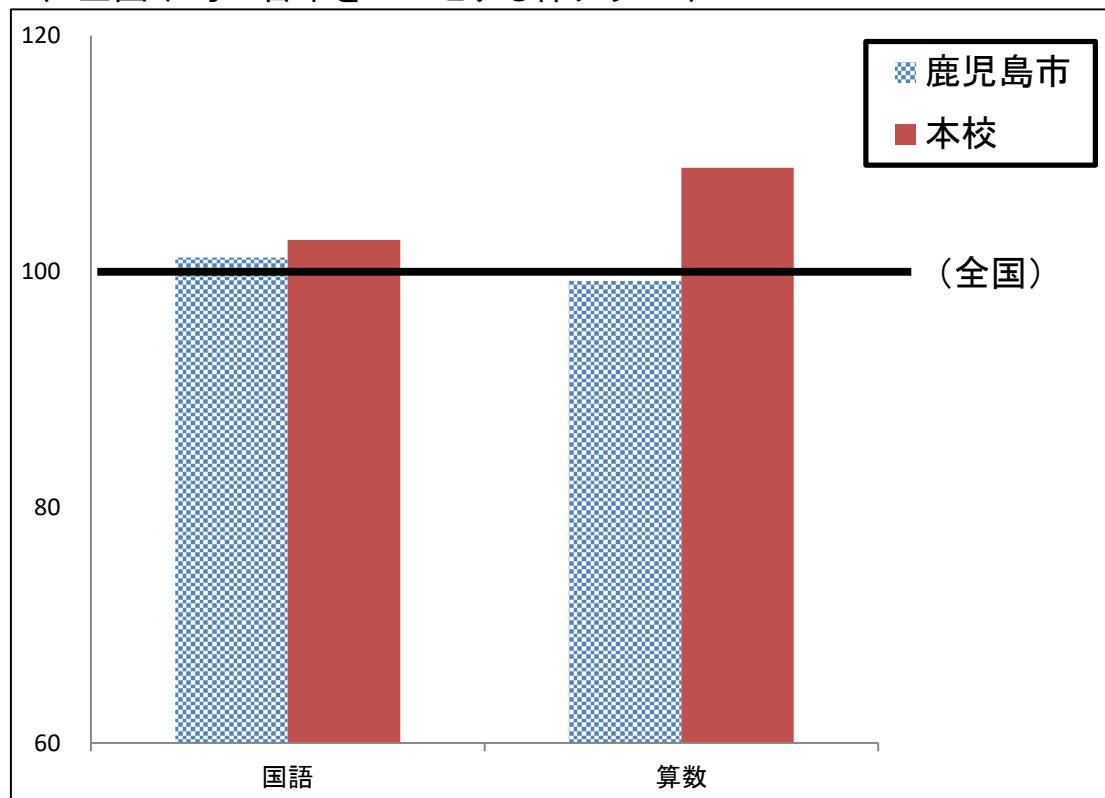


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について 西紫原小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較 〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。図表やグラフから得られる情報を的確に処理し、適切に関連付けながら、自分の考えに取り入れ、文章を組み立てることができるような指導を心がけると共に、条件に沿ってまとめられるように、書く活動の中に文字数や必ず入れる視点などの条件を日常的に取り入れる取組を実施してまいります。

〈算数〉

底辺と面積の関係をもとに面積の大小について判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。面積を求める公式の定着を図ると共に、形の違いにとらわれず、面積を求めるもとになる長さがどこになるかをいろいろな見方で考えさせたり、理由を文章にして表現したりする活動を取り入れるなどの指導の工夫に取り組んでまいります。

〈全体的に〉

児童質問紙の結果から、「早寝・早起き」(同じぐらいの時刻に起きる・寝る)の習慣について、県や全国と比べると課題が見られました。保護者に生活習慣(リズム)を整えることの大切さを知らせて協力を得るとともに、定期的なアンケートを実施して生活を振り返る活動に取り組む改善を図ってまいります。